

秋の風物詩ハロウィンイベントに参加！！



自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 細田拓郎2等空尉）は、10月19日（土）、横浜市都筑区仲町台で実施された『仲町台ハロウィン』に参加し自衛隊ブースを出展した。この地域は日頃から市ヶ尾所との交流も深く、自衛隊に対して理解のある地域であり、夏にも『仲町台夏祭り』にも参加をした。

今回はハロウィンイベントということで、市ヶ尾所の広報官は顔に「ドーラン（迷彩用顔料）」を塗って現れ、会場を盛り上げた。ブース内に設置した「制服試着体験コーナー」は、『制服コスプレ』として人気を博し、子供から大人まで多くの来場者が制服に袖を通した。子供たちからは「格好良い！」「全部着たい！」などの声があがっていた。また、保護者の方からは、「いつも国防のために本当にありがとうとございます」「災害派遣など感謝しています」「頑張ってください」などと激励の言葉をいただいた。

イベントも大いに盛り上がり、自衛隊と地域との関係性が深まり住民に「身近な自衛隊」をあらためてアピールすることができた。

市ヶ尾募集案内所は「今後も地域との連携を図り、住民に自衛隊の魅力を広く伝え、志願者を獲得するために日々努力していく」としている。

「大きい赤いカブトムシ」の一般広報



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、10月19日（土）、綾瀬市内で開催された「学童保育まつり」において広報活動を実施した。

当日は、海上自衛隊第4航空群の支援を得て、「救難消防車」の車両展示のほか、防火服の試着体験、災害派遣パネル展示等を実施し、10月とは思えない暑さのなか、多数の子供たちや保護者等が訪れ、会場は大にぎわいとなった。綾瀬市消防署のはしご車や救助工作車が並ぶなか、厚木所管内での広報として初披露となる「救難消防車」は特に人気の的となった。

初めて見る「救難消防車」に、子供たちは「大きい！」「何をやる車なの？」と車両の見た目のインパクトに驚きつつも、「カブトムシみたい」と子供らしい感想を話していた。子供たちに負けず興奮気味の保護者等からも「スピードは？」「放水量は？」「メーカーは？」など、矢継ぎ早に質問が飛び交うなど、「赤いカブトムシ」は大人気であった。また、子供たちが防火服を試着すると、保護者から「かわいい」などの声が上がると、「赤いカブトムシ」と記念撮影する姿も多く見られた。

厚木募集案内所は、「今後も地域のイベントを通じて住民の災害対策や防災意識の向上に貢献し、自衛隊の有用性を理解していただけるよう、広報活動を積極的に実施していく」としている。